

Kansai Economic Insight Monthly

2015/6/19

Vol.26 May/June

・ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・ 本レポートの内容は、公益社団法人関西経済連合会『関西経済レポート』と連携しています。

・ レポート公開時期は毎月第3週金曜日を予定しています。

・ 執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長）、林万平・木下祐輔・James Brady（各 APIR 研究員）です。

・ 本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

要 旨

- ✓ 4月の鉱工業生産指数は2カ月ぶりに前月から低下。一方、5月の実質輸出は2カ月連続で同減少していることから、5月の生産はマイナスの伸びが予想される。
- ✓ 5月の貿易は、輸出は27カ月連続で前年比増加。輸入は3カ月連続で減少。結果、貿易収支は3カ月連続の黒字。
- ✓ 5月の消費者態度指数、景気ウォッチャー現状判断DIはともに悪化。先行きも悪化しており、円安による物価上昇や原材料コスト増加、電気料金値上げに対する懸念が大きい。
- ✓ 2月の関西2府4県の現金給与総額の伸びは前月から減速。3月の関西コアの伸びは横ばい。賃金上昇は一服している。
- ✓ 4月の大型小売店の販売額は2カ月ぶりの前年比プラス。前年の消費増税に伴う需要の反動減による影響が見られる。
- ✓ 4月の新設住宅着工戸数は大幅減少し8カ月連続の前年比マイナス。持ち家は微増も、貸家、分譲は大幅マイナスとなった。
- ✓ 4月の有効求人倍率は4カ月ぶりの上昇。新規求人倍率も外国人観光客増加により飲食・サービス業を中心に上昇。失業率は非労働力人口増加により3カ月ぶりに悪化した。
- ✓ 5月の公共工事請負金額は前年比-26.5%と2カ月ぶりの大幅減。関西の公共工事受注は前月から一転大幅な減少となった。
- ✓ 4月の建設工事は前年比+5.8%と2カ月連続の増加。建設工事の伸びは停滞しているが、前月からは幾分上向きとなった。
- ✓ 中国の5月の工業生産は、前年比+6.1%となり前月より改善したが、水準は昨年を下回る。同月の社会消費品小売総額は前年比+10.1%となり、前月から伸びは幾分上昇。生産、消費とも改善は緩やか。

目次

要旨	1
景気の現況	2
中国景気モニター	8
主要月次統計	11
Release Calendar	12

【関西経済のトレンド】

	2014年								2015年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
生産	↗	↘	↗	↘	↗	↗	↘	↗	↗	↘	↗	↘	
貿易	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↗
センチメント	↗	↗	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↘
消費	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗	
住宅	↘	↗	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↗	↘	
雇用	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	
公共工事	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↗	↘
中国	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↘	↘	↘	↗	↘	↘	↗

【鉱工業生産動向】

(1) 関西の生産動向

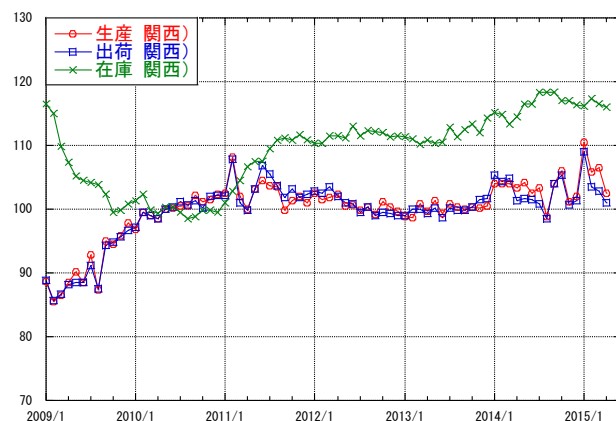
4月の鉱工業指数(速報値：季節調整済)を見ると、生産は102.5で前月比-3.8%と2カ月ぶりの下落、出荷は101.1で同-1.7%と3カ月連続の下落。在庫は116.1で同-0.3%と2カ月連続の下落となった。

業種別に生産指数をみると、はん用・生産用・業務用機械(同-20.0%)、電気機械(同-14.8%、3カ月連続のマイナス)、鉄鋼(同-5.2%、3カ月連続のマイナス)等が減産となった。一方、電子部品・デバイス(同+14.9%)、金属製品(同+11.0%)、輸送機械(除、航空機・鋼船・鉄道車両)(同+1.8%)等が上昇した。

5月の実質輸出は2カ月連続で前月比減少しており、5月の生産は同様に減少が予想される。全国の製造工業生産予測

調査も5、6月には均して見れば横ばいとなっており、今後の生産動向に力強い伸びは期待しにくい。

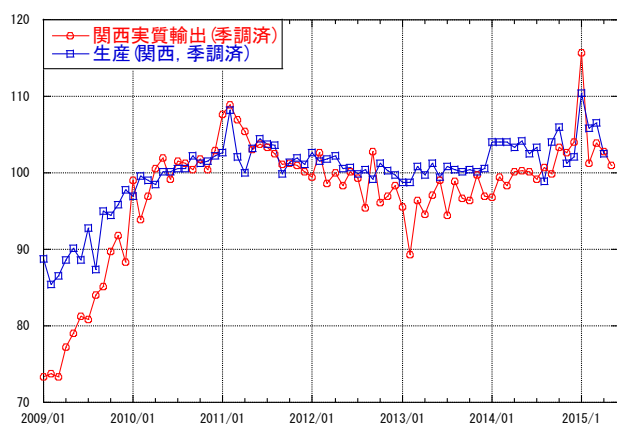
鉱工業指数の推移(関西：2015年4月まで、平成22年=100)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

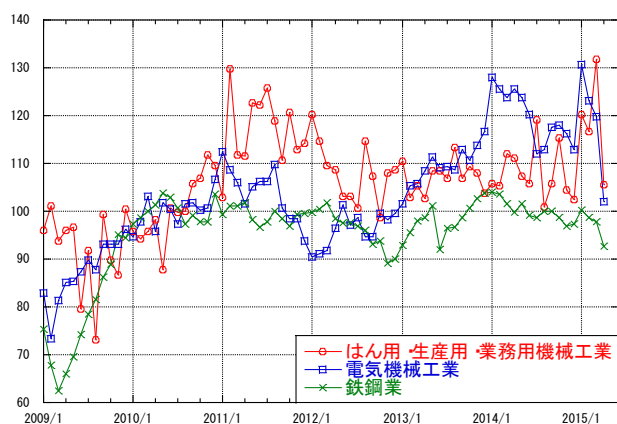
関西の実質輸出(5月まで)と鉱工業生産指数(4月まで)の推移
(2015年5月まで、季調済、平成22年=100)



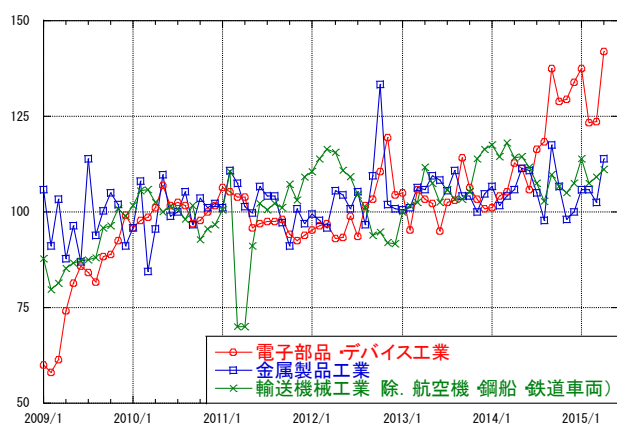
(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」、日本銀行大阪支店

業種別生産指数の推移(関西：2015年4月まで、平成22年=100)



業種別生産指数の推移 (続き)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

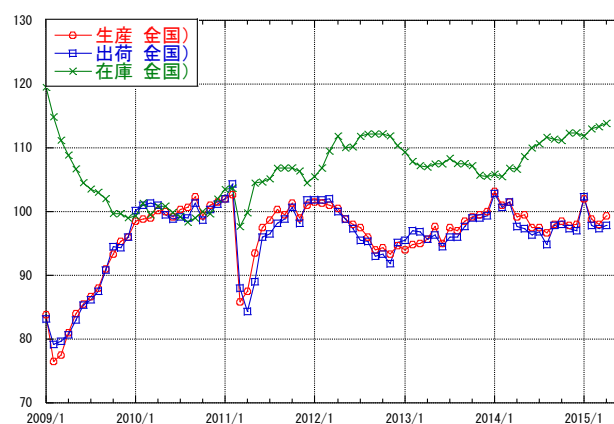
(2) 全国の生産動向

全国における4月の鉱工業生産指数(確報値、季節調整済)は99.3となり前月比+1.2%、出荷は97.9で同+0.6%といずれも3カ月ぶりの上昇。在庫は113.8で同+0.4%と3カ月連続の上昇となった。

業種別にみると、電子部品・デバイス(同+5.4%)、電気機械(同+6.2%)、金属製品(同+6.4%)等を中心に増産となった。一方、情報通信機械(同-6.6%)、鉄鋼(同-2.9%)、その他(同-1.6%)等お減産となった。

なお、製造工業生産予測調査で5月は増産(同+0.5%)も、6月は減産(同-0.5%)となっている。

鉱工業指数の推移(全国：2015年4月まで、平成22年=100)



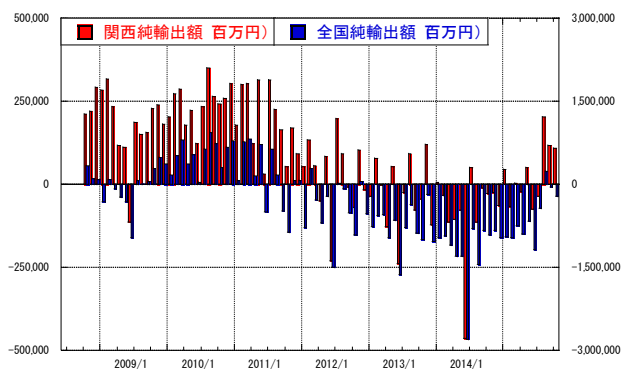
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、5月関西の貿易収支は+1,091億円と3カ月連続の黒字となった。前年同月から1,364億円改善した。全国の貿易収支(速報値)は-2,160億円と2カ月連続の赤字となったものの、赤字幅は前年同月から-76.5%縮小した。

関西純輸出(左軸: 100 万円)・全国純輸出(右軸: 100 万円)推移
(2015 年 5 月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料: 近畿圏」

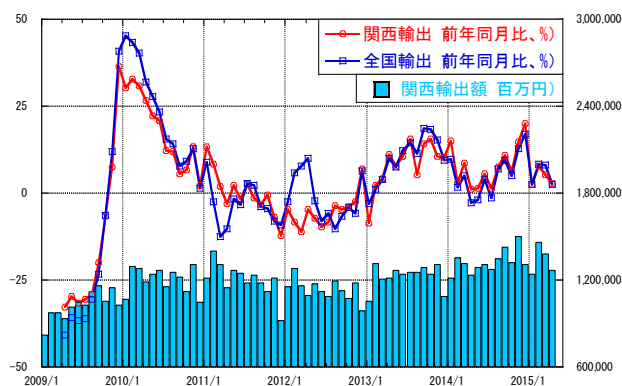
(2) 輸出

関西 5 月の輸出額(速報値)は 1 兆 2,642 億円。前年同月比 +2.7%と 27 カ月連続の増加。財別に見れば、輸出増加に主に貢献したのは、半導体等電子部品(単月過去最高額)、通信機であった。一方、鉄鋼、科学光学機器は減少となった。

全国 5 月の輸出額(速報値)は 5 兆 7,405 億円となり、前年同月比+2.4%と 9 カ月連続の増加。財別に見れば、半導体等電子部品、船舶、及びポンプ・遠心分離機等の輸出が増加した。

なお、足下、為替レート(税関長公示レートベース)は 119.49 円と前年同月比-17.0%の円安であった。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2015 年 5 月まで)



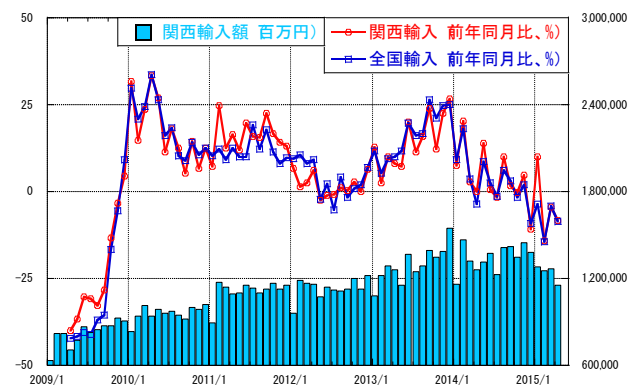
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料: 近畿圏」

(3) 輸入

関西 5 月の輸入額(速報値)は 1 兆 1,551 億円、伸びは前年同月比-8.2%と 3 カ月連続の減少。財別に見れば、原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス等が減少した。通信機(単月過去最高額)、半導体等製造装置(過去最高額)等は増加した。

全国 5 月の輸入額(速報値)は 5 兆 9,564 億円、前年同月比-8.7%と 5 カ月連続の減少。財別に見れば、原油、液化天然ガス、鉄鉱石等の輸入が減少した。

輸入(右、100 万円)・前年同月比(左、%)推移(2015 年 5 月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

(4) 関西の地域別貿易

関西 5 月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+1,883 億円となり、16 カ月連続の黒字であった。黒字幅は前年同月比+36.5%拡大した。輸出は 9 カ月連続で増加(同+1.7%)。財別に見れば、半導体等電子部品、通信機等が増加した。輸入は 2 カ月ぶりのマイナス(同-5.1%)。財別に見ると、天然ガス及び製造ガス、原油及び粗油等が減少した。

うち、対中貿易収支は-737 億円と 39 カ月連続の赤字。赤字幅は 3 カ月連続で前年同月から縮小した(前年比-0.7%)。輸出は 3 カ月連続の増加(同+1.1%)も、伸びは小幅。一方、輸入は 3 カ月ぶりの増加(同+0.8%)となった。

対米貿易収支は+566 億円と黒字基調が続いており、黒字幅は 9 カ月連続で前年から拡大した(同+18.1%)。うち、輸出は 12 カ月連続の増加(同+12.5%)。財別に見れば、建設

用・鉱山用機械等が増加した。輸入は4カ月連続の増加(同+9.8%)であり、財別に見れば、医薬品、半導体等製造装置等が増加した。

対EU貿易収支は+15億円と7カ月連続の黒字となり、前年同月から80億円改善した。うち、輸出は8カ月連続の増加(同+11.7%)。財別に見れば、船舶、有機化合物等が増加した。輸入は3カ月ぶりの増加(同+4.4%)。財別に見れば、半導体等製造装置、自動車等が増加した。

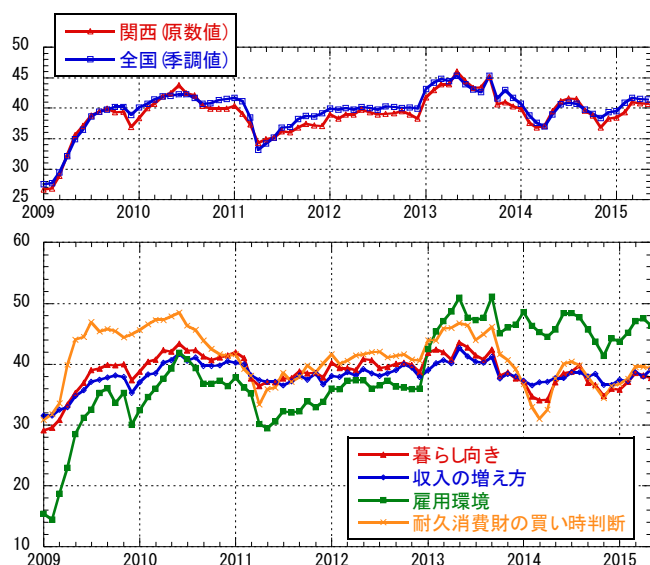
【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

関西の5月の消費者態度指数(原数値)は前月比-0.1ポイントの40.7と、2カ月連続の悪化。全国(季節調整値)でも同-0.1ポイントの41.4とこちらも2カ月連続の悪化。これを受けて内閣府は消費者心理の基調判断を6カ月ぶりに下方修正した。

関西で同指数の構成項目をみると、5月は「収入の増え方」が同+1.2ポイントで2カ月ぶりに上昇。一方、「雇用環境」は同-1.2ポイントと4カ月ぶりの悪化、「暮らし向き」は同-0.5ポイントと2カ月連続の悪化、「耐久消費財の買い時判断」は同-0.2ポイントと6カ月ぶりに悪化した。

消費者態度指数(2015年5月まで)



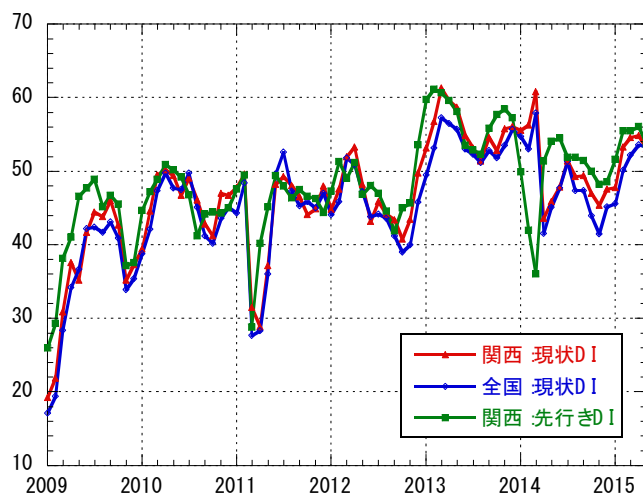
(出所) 内閣府「消費動向調査」

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の5月の現状判断DIは前月比-1.8ポイント下落し53.1となり、6カ月ぶりの悪化。インバウンド関連の好調が続いたものの、円安に伴うコスト上昇や商品の値上げ等がマイナスに働いた。全国は同-0.3ポイントとこちらも6カ月ぶりに悪化し53.3となった。

先行き判断DIは、関西では53.7と前月比-2.4ポイント悪化。賃上げや夏のボーナス増加はプラスに働くものの、円安による物価上昇や原材料コスト増加等がマイナス要因として働いた。一方、全国は同+0.3ポイント上昇して54.5となり、6カ月連続の改善。関西では家庭向け電気料金の値上げが始まることを見通しを悪化させているとみられる。

景気ウォッチャー調査(2015年5月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

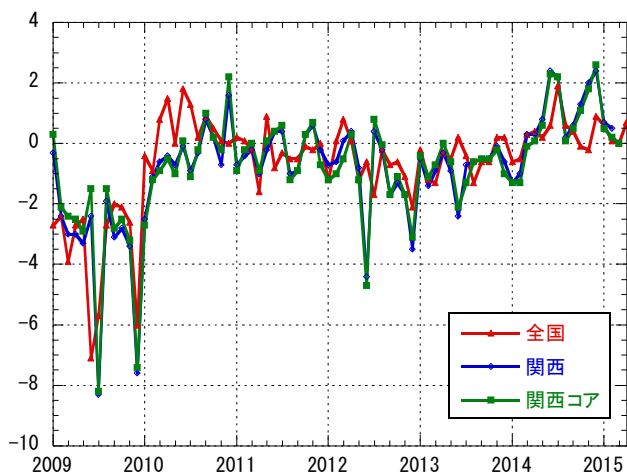
2月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は25万6,893円で前年同月比+0.5%と12カ月連続のプラスとなったが、前月(同+0.7%)から伸びは減速している。府県別では、和歌山県で9カ月連続のプラスとなり、前月の大幅プラス(+6.5%)から低下したものの、伸びが最も大きかった。次いで、奈良県では同+2.7%、京都府同+2.3%、滋賀県同+0.9%、大阪府同+0.3%となった。兵庫県では同

-0.9%と前月(+0.4%)からマイナスに転じた。

3月の京都・大阪・兵庫の加重平均をとった「関西コア」賃金指数(APIR 推計)は、前年同月比横ばいとなり、11カ月続いた伸びが止まった。賃金上昇は一服している。

全国(確報値)の現金給与総額は、4月は前年同月比+0.7%と横ばいだった前月から上昇した。内訳をみると、所定内給与は同+0.4%と前月(同+0.2%)から小幅上昇。所定外給与は同-1.7%と前月(同-1.8%)から小幅改善。特別給与は同+10.9%と前月(+0.5%)から大幅に上昇した。現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は速報時点では同+0.1%のプラスだったが、確報では同-0.1%と24カ月連続の低下となった。

現金給与総額(前年同月比 : %, 2015年4月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR 推計値。現金給与

と総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

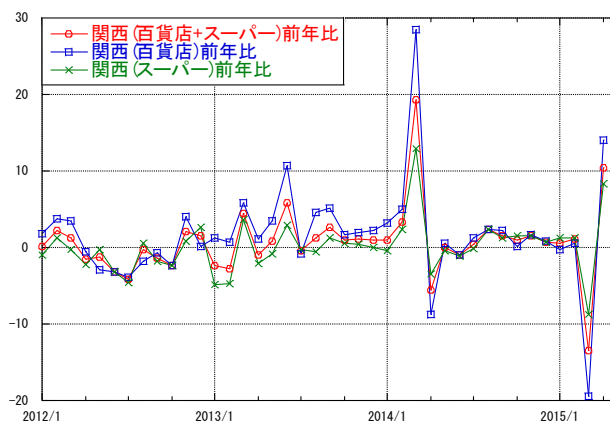
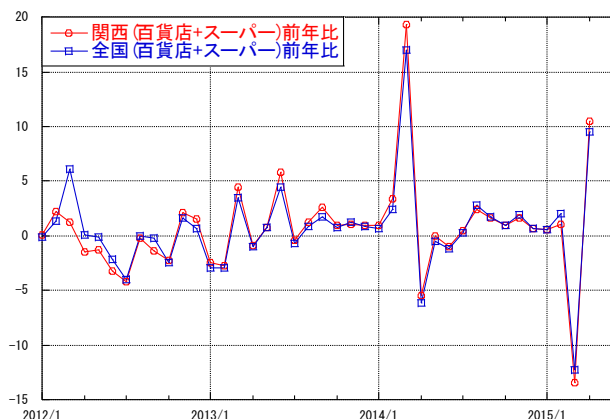
(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」(6月18日公表)

(2) 大型小売店販売額

関西4月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+10.5%と2カ月ぶりのプラス。百貨店は同+14.1%と2カ月ぶりのプラス。スーパーは同+8.4%と2カ月ぶりのプラス。

全国でも、4月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+9.5%と2カ月ぶりプラスとなっている。消費増税の反動減による影響が見られる。

大型小売店販売額(前年同月比 : %, 2015年4月まで)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(3) 新設住宅着工の動向

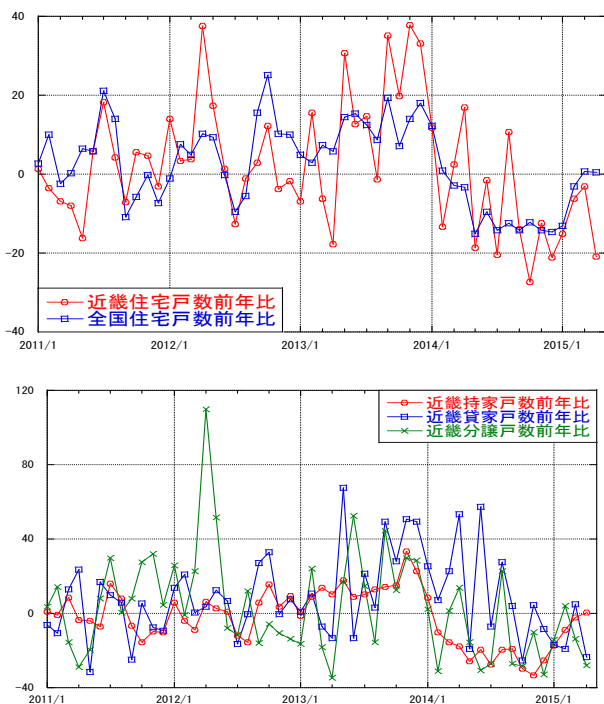
関西4月の新設住宅着工戸数は9,823戸。前年同月比-20.9%と大幅減少。8カ月連続のマイナス。全国は75,617戸と同+0.4%微増した。2カ月連続のプラス。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は2,660戸、同+0.6%と15カ月ぶりのプラス。貸家は3,845戸、同-23.7%と2カ月ぶりの大幅減少。分譲は3,312戸、同-28.0%と2カ月連続の大幅マイナスとなった。

4月の関西マンション契約率は70.5%(季節調整値、APIR 推計)となった。好不調の目安となる70%を3カ月連続で超

えている。全国のマンション契約率は72.1%(季節調整値、APIR推計)となった。足下、全国の住宅着工は微増だったが、関西は大幅減少となった。

新設住宅着工(前年同月比: %, 2015年4月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

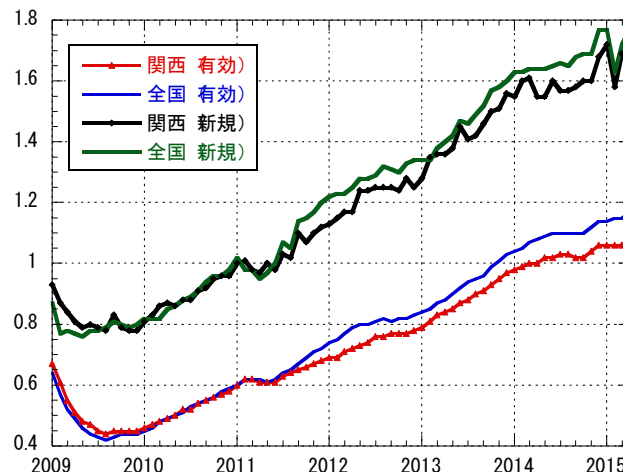
4月の関西の有効求人倍率は、前月比+0.02ポイント上昇し、1.08倍となった。4カ月ぶりの上昇。全国も同+0.02ポイント上昇し、1.17倍と1992年3月(1.19倍)以来の高水準。

府県別では滋賀県を除き有効求人倍率は上昇。京都府・大阪府・奈良県・和歌山県で同+0.03ポイント上昇、兵庫県では同+0.01ポイント上昇。滋賀県では-0.01ポイント低下。

4月関西の新規求人倍率は、1.71倍と前月比+0.02ポイント上昇した。全国は1.77倍と前月比+0.05ポイント上昇した。

関西の産業別求人数は、外国人観光客の増加を受け、宿泊・飲食サービス業は2カ月連続で2桁増(同+23.8%)。医療・福祉(同+10.5%)も堅調な伸びとなった。

有効求人倍率の推移(季節調整値、2015年4月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況(平成27年5月29日発表)」

関西2府4県有効求人倍率(2015年4月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
4月	1.17	1.08	1.02	1.10	1.17	0.96	0.93	1.02
3月	1.15	1.06	1.03	1.07	1.14	0.95	0.90	0.99

(2) 完全失業率の推移

4月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR推計)は3.5%で前月(3.3%)から0.2%ポイント上昇し、3カ月ぶりの悪化となった。非労働力人口が大幅に増加したことによる。

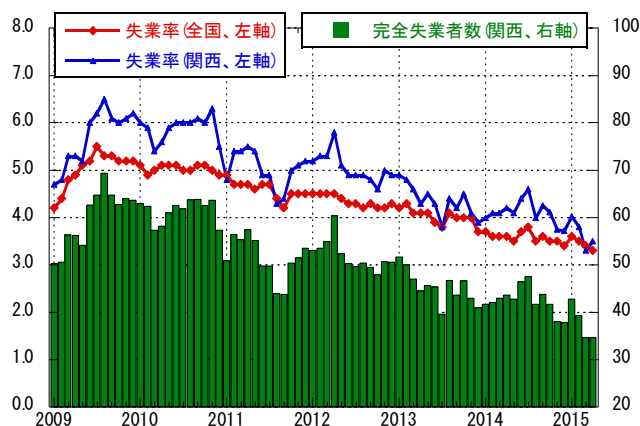
関西の完全失業者数(季節調整値:APIR推計)は34.6万人で前月と横ばいであった。

一方、全国の完全失業率(季節調整値)は3.3%、前月から-0.1%ポイント低下し3カ月連続の改善。1997年4月以来の低水準となった。勤め先や事業の都合による離職が減少した。

15~64歳の就業率(原数値ベース)をみると、72.9%となり、前年同月比+0.5%ポイント上昇しており、昨年の後半から高水準が続いている。

また、正規雇用者・非正規雇用者の両方が増加しており、雇用の質も改善している(原数値ベース)。

完全失業率の推移 (季節調整値: %, 万人、2015年3月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」(平成27年5月29日発表)

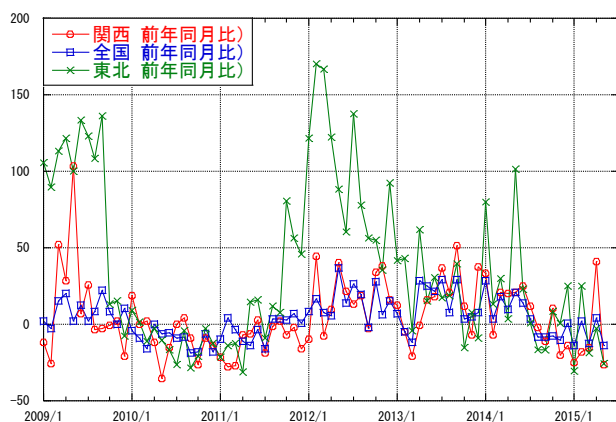
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

関西5月の公共工事請負金額は1,276億円で前年同月比-26.5%と2カ月ぶりの大幅マイナスとなった。全国は1兆1,295億円で同-14.0%と2カ月ぶりのマイナス。東北は2,096億円で同-25.3%と3カ月連続の減少となった。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西、全国共に2カ月ぶりに前月から大幅減少となった(関西:同-41.3%、全国:同-5.7%)。関西の公共工事受注は前月から一転、大幅なマイナスとなった。なお、4-5月平均を1-3月平均と比較すれば、-47.4%と大幅な減少となり、マイナス幅は1-3月期(同-24.0%)から拡大している。

公共工事請負金額(前年同月比: %, 2015年5月まで)

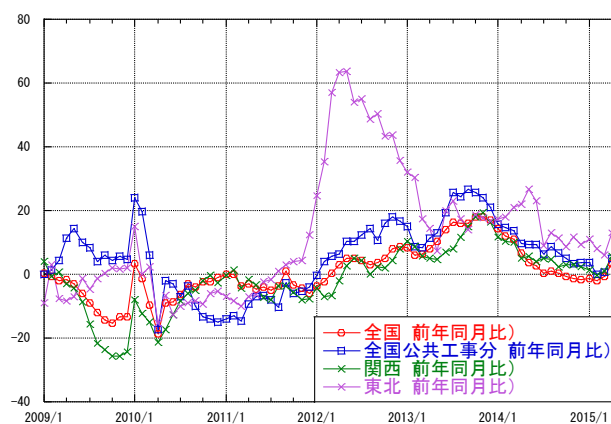


(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

(2) 建設工事

関西4月の建設工事は4,679億円、前年同月比+5.8%と2カ月連続の増加となった。東北は5,096億円、同+13.1%と45カ月連続の増加。全国は3兆6,321億円となり、同+3.4%と7カ月ぶりの増加。うち、全国の公共工事は1兆4,458億円で同+4.9%と39カ月連続の増加も、伸びは13カ月連続で1桁にとどまった。建設工事の伸びは停滞しているが、全国、関西とも前月からは幾分上向きとなった。

建設工事(前年同月比: %, 2015年4月まで)



(出所) 国土交通省「建設総統計」

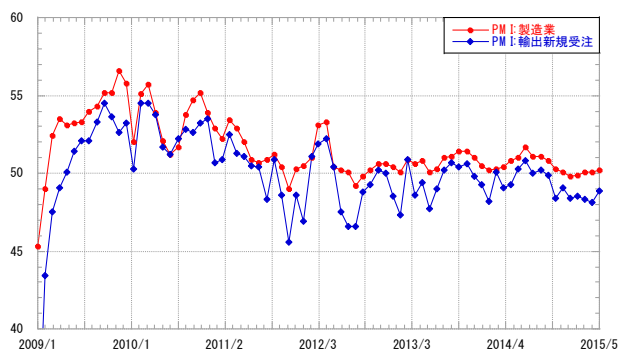
【中国景気モニター】

(1) センチメント

5月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は、前月比+0.1ポイント上昇し50.2となり、4カ月連続の改善。

うち、生産指数は前月比+0.3ポイント上昇し、52.9となり、3カ月連続の改善。また、新規受注指数は50.6となり、こちらも3カ月ぶりの改善。一方、輸出新規受注指数は同+0.8ポイント上昇し48.9となったが、8カ月連続で50を下回った。雇用指数は前月から+0.2ポイント上昇し、48.2となり、2カ月ぶりのプラスとなった。しかし、2012年6月以来、36カ月連続で50を下回っている。

中国製造業購買担当者景況指数(2015年5月まで：%)



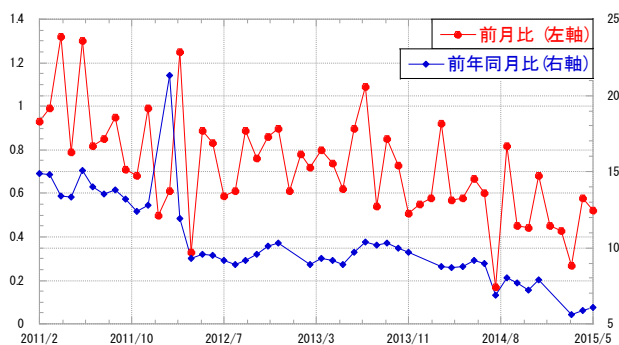
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(2) 工業生産

5月の工業生産は前月比+0.52%と、前月から-0.06%ポイント低下した。前年同月比は+6.1%となり、前月より+0.2%ポイント上昇したが、昨年通年の水準を大きく下回る状況が続いている。

産業別に見ると、パソコン・通信及びその他電子設備製造業(同+9.9%)、化学原料・化学製品製造業(同+8.8%)、医薬製造業及びゴム・プラスチック製品製造業(同+8.6%)、有色金属圧延加工業(同+8.5%)等が高い伸びを示す一方で、電力・熱力生産・供給業(同+1.4%)、通用設備製造業(同+2.7%)、専用設備製造業(同+3.1%)、農副食品加工業(同+4.4%)等は比較的低調な伸びにとどまった。

工業生産指数(2015年5月まで：%)



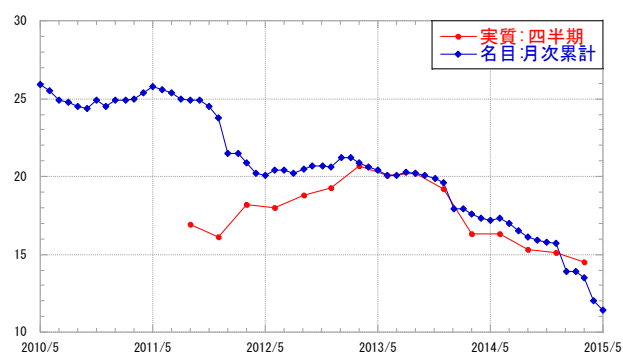
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(3) 固定資産投資

1-5月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+11.4%となったが、11カ月連続で伸びが減速(1-4月期：同+12.0%)しており、2000年1-12月(同+9.7%)以来の低水準となった。

産業別にみれば、第1次産業は同+27.8%(1-4月期：+26.4%)、第2次産業は同+9.6%(1-4月期：+9.8%)、第3次産業は同+12.1%(1-4月期：+13.2%)となった。

固定資産投資 (2015年5月まで：%) (累積伸び率)

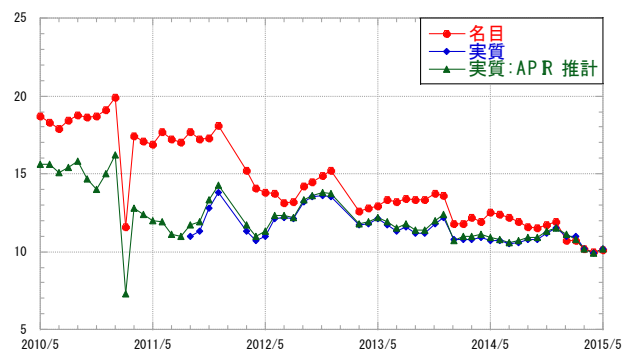


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(4) 消費

5月の社会消費品小売総額の名目成長率は前年同月比+10.1%と前月(同+10.0%)からほぼ横ばいであった。消費は中国经济成長のエンジンと期待されているが、依然2桁の伸びを維持しており底堅いものの、全体を牽引する力はない。

社会消費品小売総額 (2015年5月まで：%)



(注) APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

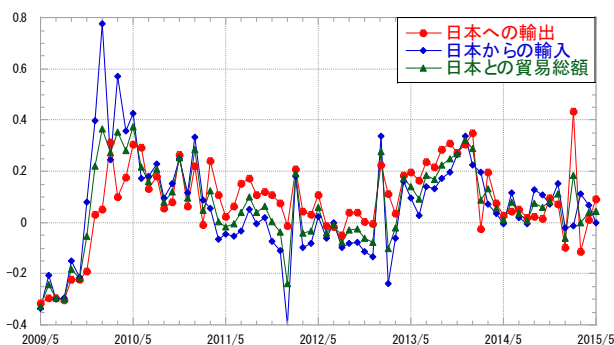
(5) 貿易動向

5月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比-2.4%減少し、3カ月連続のマイナス。輸入額は同-17.7%(速報値)となり、7カ月連続のマイナス。

うち、日本への輸出額は同-8.1%となり、前月(同-13.3%)からマイナス幅は縮小したが、3カ月連続のマイナス。日本からの輸入額は同-15.6%となり、7カ月連続のマイナス。前月(同-8.5%)からマイナス幅は拡大した。

円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+9.0%となり、2カ月連続のプラス。日本からの輸入額は同+0.1%となり、3カ月連続のプラス。

日本との貿易 (前年同月比 : 円ベース) (2015年5月まで : %)

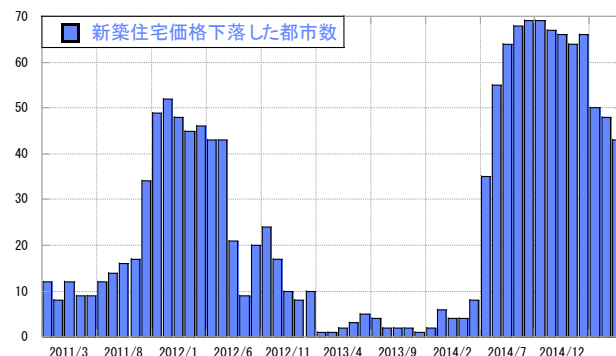


(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(6) 不動産市場

不動産価格(新築住宅価格)を見ると、中国主要 70 都市のうち、5月は43都市で下落した。下落した都市の数は4月の48都市より減少した。一方、20都市で前月に比べ上昇、7都市で横ばいとなった。

新築住宅価格の主要都市集計 (2015年5月まで : 都市数)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 林万平・木下祐輔・James Brady

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	14/5M	14/6M	14/7M	14/8M	14/9M	14/10M	14/11M	14/12M	15/1M	15/2M	15/3M	15/4M	15/5M
景況感													
[関西] 景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	45.9	47.9	51.4	49.3	49.4	47.0	45.4	47.6	47.8	53.3	54.6	54.9	53.1
[関西] 景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	43.1	46.8	50.3	49.9	50.2	45.9	43.2	48.2	47.4	52.3	54.1	55.0	53.4
[関西] 景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	54.1	54.5	51.9	51.9	51.5	50.0	48.2	48.6	51.6	55.5	55.5	56.1	53.7
[全国] 景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	45.1	47.7	51.3	47.4	47.4	44.0	41.5	45.2	45.6	50.1	52.2	53.6	53.3
[全国] 景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	42.1	45.1	49.4	45.8	46.7	42.3	39.5	44.2	43.9	48.4	50.9	53.2	53.6
[全国] 景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	53.8	53.3	51.5	50.4	48.7	46.6	44.0	46.7	50.0	53.2	53.4	54.2	54.5
消費者心理・小売り													
[関西] 消費者態度指数(原数値)	39.5	41.2	41.6	41.5	39.6	38.8	36.8	38.3	38.5	39.3	41.0	40.8	40.7
[関西] // 暮らし向き(原数値)	37.0	38.5	38.8	39.8	36.9	36.6	34.8	36.0	35.8	37.1	38.5	38.2	37.7
[関西] // 収入の増え方(原数値)	37.7	37.7	38.7	38.7	38.0	38.4	36.6	36.6	37.5	37.2	38.7	38.0	39.2
[関西] // 雇用環境(原数値)	45.7	48.4	48.4	47.7	45.7	43.7	41.4	44.2	43.7	45.2	47.1	47.5	46.3
[関西] // 耐久消費財の買い時判断(原数値)	37.6	40.1	40.4	39.8	37.9	36.3	34.4	36.4	36.8	37.6	39.6	39.6	39.4
[全国] 消費者態度指数(季節調整値)	39.0	40.6	40.9	40.7	39.8	39.1	38.4	39.3	39.5	40.9	41.7	41.5	41.4
[関西] 大型小売店販売額(10億円)	303.7	314.0	335.1	311.0	294.1	308.1	335.1	419.0	335.0	289.7	327.0	310.8	UN
[関西] 大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	0.0	-1.0	0.5	2.4	1.6	1.0	1.6	0.7	0.6	1.1	-13.4	10.5	UN
[全国] 大型小売店販売額(10億円)	1,592.4	1,631.7	1,717.4	1,626.3	1,531.3	1,606.5	1,728.6	2,155.4	1,722.7	1,498.6	1,715.0	1,608.2	UN
[全国] 大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	-0.5	-1.2	0.3	2.8	1.7	1.0	1.9	0.7	0.6	2.0	-12.3	9.5	UN
住宅建設													
[関西] 新設住宅着工(戸数)	10,095	12,018	10,038	12,764	11,707	10,816	12,192	11,625	9,605	9,002	10,832	9,823	UN
[関西] 新設住宅着工(前年同月比%)	-18.6	-1.6	-20.5	10.6	-14.0	-27.3	-12.5	-21.1	-15.0	-6.2	-3.0	-20.9	UN
[全国] 新設住宅着工(戸数)	67,791	75,757	72,880	73,771	75,882	79,171	78,364	76,416	67,713	67,552	69,887	75,617	UN
[全国] 新設住宅着工(前年同月比%)	-15.0	-9.5	-14.1	-12.5	-14.3	-12.3	-14.3	-14.7	-13.0	-3.1	0.7	0.4	UN
[関西] マンション契約率(季節調整値)	80.0	73.4	73.6	71.8	78.4	73.4	81.6	75.6	79.3	69.9	70.4	73.6	70.5
[関西] マンション契約率(原数値)	85.3	76.4	77.1	71.7	76.9	74.1	80.9	73.0	70.9	67.1	72.7	74.2	75.2
[全国] マンション契約率(季節調整値)	77.5	73.9	83.5	71.9	71.5	65.2	79.0	70.3	69.5	74.5	75.2	74.5	72.1
[全国] マンション契約率(原数値)	78.9	76.6	83.7	69.6	71.6	63.3	78.4	71.0	74.9	74.5	79.6	75.5	71.1
[関西] 公共工事前払保証額(10億円)	173.7	188.3	164.5	116.7	148.5	150.4	88.9	97.2	70.6	64.4	112.4	263.4	127.6
[関西] 公共工事前払保証額(前年同月比%)	21.1	25.0	12.2	-2.0	-11.3	10.8	-20.0	-13.7	-25.1	-18.3	-14.9	40.9	-26.5
[全国] 公共工事前払保証額(10億円)	1,312.6	1,585.5	1,627.3	1,127.6	1,398.4	1,316.1	843.7	894.4	670.8	712.2	1,275.5	1,836.1	1,129.4
[全国] 公共工事前払保証額(前年同月比%)	21.1	14.3	3.5	-8.1	-8.2	-7.4	-10.4	1.0	-13.7	2.3	-12.4	4.4	-14.0
[関西] 建設工事(総合、10億円)	450.5	462.1	475.6	506.1	534.1	556.5	587.8	609.6	600.8	584.1	573.7	467.9	UN
[関西] 建設工事(総合、前年同月比%)	5.7	4.2	4.9	4.8	2.3	3.0	3.2	2.4	1.4	-0.2	1.0	5.8	UN
[全国] 建設工事(総合、10億円)	3,435.2	3,634.4	3,738.2	4,030.9	4,333.2	4,522.6	4,714.6	4,834.6	4,611.0	4,510.3	4,520.2	3,632.1	UN
[全国] 建設工事(総合、前年同月比%)	3.7	2.8	0.5	1.2	0.3	-0.6	-1.4	-1.7	-1.3	-2.1	-0.7	3.4	UN
[全国] 建設工事(公共工事、10億円)	1,301.1	1,410.8	1,485.5	1,703.7	1,933.3	2,098.8	2,247.4	2,344.3	2,188.1	2,127.4	2,140.9	1,445.8	UN
[全国] 建設工事(公共工事、前年同月比%)	9.4	9.4	6.3	8.7	6.7	5.1	3.5	3.7	3.6	0.2	0.8	4.9	UN
生産													
[関西] 鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	104.2	102.5	103.4	98.9	104.1	106.0	101.2	102.1	110.5	105.9	106.5	102.5	UN
[関西] 鉱工業生産(季節調整値、前月比)	0.8	-1.6	0.9	-4.4	5.3	1.8	-4.5	0.9	8.2	-4.2	0.6	-3.8	UN
[関西] // 出荷指数(原数値、前年同月比%)	-0.4	3.6	-0.6	-3.7	6.6	5.2	-4.0	0.7	1.8	-0.7	0.3	-0.2	UN
[関西] // 在庫指数(原数値、前年同月比%)	5.4	5.3	5.6	6.8	5.6	3.3	4.5	1.5	0.8	2.2	2.8	1.4	UN
[関西] // 出荷指数(季節調整値、10年=100)	102.8	102.9	101.6	99.2	106.5	105.3	102.1	102.9	109.0	103.6	102.9	101.1	UN
[関西] // 出荷指数(季節調整値、前月比)	0.4	0.1	-1.3	-2.4	7.4	1.3	-5.2	0.8	7.6	-5.0	-0.7	-1.7	UN
[関西] // 在庫指数(季節調整値、10年=100)	117.5	117.6	120.4	119.8	120.0	117.0	117.7	117.1	116.2	117.4	116.5	116.1	UN
[関西] // 在庫指数(季節調整値、前月比)	2.3	0.1	2.4	-0.5	0.2	-1.2	0.1	-0.5	-0.2	1.0	-0.8	-0.3	UN
[全国] 鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	99.5	97.6	97.5	96.7	98.1	98.5	97.9	98.1	102.1	98.9	98.1	99.3	UN
[全国] 鉱工業生産(季節調整値、前月比)	0.3	-1.9	-0.1	-0.8	1.4	0.4	-0.6	0.2	4.1	-3.1	-0.8	1.2	UN
[全国] // 出荷指数(原数値、前年同月比%)	-1.1	1.9	-0.5	-4.1	1.7	-0.6	-4.8	-0.1	-2.1	-2.9	-2.3	0.2	UN
[全国] // 在庫指数(原数値、前年同月比%)	1.1	3.1	3.1	4.7	4.1	3.9	6.6	6.2	5.6	7.0	6.2	6.6	UN
[全国] // 出荷指数(季節調整値、10年=100)	97.0	95.2	96.9	94.9	97.9	98.0	97.3	97.1	102.4	97.9	97.3	97.9	UN
[全国] // 出荷指数(季節調整値、前月比)	-0.4	-0.9	0.5	-2.1	3.2	0.1	-0.7	-0.2	5.5	-4.4	-0.6	0.6	UN
[全国] // 在庫指数(季節調整値、10年=100)	108.4	110.6	110.7	111.7	111.3	111.2	112.4	112.3	111.8	113.0	113.4	113.8	UN
[全国] // 在庫指数(季節調整値、前月比)	1.9	1.3	0.5	0.9	-0.4	-0.1	1.1	-0.1	-0.4	1.1	0.4	0.4	UN
労働													
[関西] 現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	0.8	2.4	2.2	0.2	0.6	1.3	2.0	2.4	0.7	0.5	UN	UN	UN
[関西] 現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	0.6	2.3	2.2	0.1	0.5	1.1	1.8	2.6	0.5	0.2	0.0	UN	UN
[全国] 現金給与総額(前年同月比%)	0.2	0.6	1.9	0.6	0.4	-0.1	-0.2	0.9	0.6	0.1	0.0	0.7	UN
[関西] 完全失業率(季節調整値)	4.1	4.4	4.6	4.0	4.2	4.1	3.8	3.7	4.0	3.8	3.3	3.5	UN
[関西] 完全失業率(原数値)	4.0	4.2	4.7	4.0	4.1	4.3	3.6	3.4	4.2	4.0	3.6	3.5	UN
[全国] 完全失業率(季節調整値)	3.6	3.7	3.7	3.5	3.6	3.5	3.5	3.4	3.6	3.5	3.4	3.3	UN
[関西] 新規求人倍率(季節調整値)	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.6	1.7	1.7	UN
[全国] 新規求人倍率(季節調整値)	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.8	1.6	1.7	1.8	UN
[関西] 有効求人倍率(季節調整値)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	UN
[全国] 有効求人倍率(季節調整値)	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	UN
国際貿易													
[関西] 純輸出(10億円)	-27.3	-23.6	-63.1	43.5	-67.2	2.3	-22.2	50.2	-76.0	-36.4	203.1	117.1	109.1
[関西] 輸出(10億円)	1,231.1	1,288.8	1,310.8	1,273.6	1,348.5	1,425.2	1,322.6	1,500.7	1,304.8	1,242.4	1,459.2	1,383.9	1,264.2
[関西] 輸出(前年同月比%)	1.2	1.5	5.5	1.3	7.5	10.9	6.5	14.7	20.0	2.5	7.9	5.4	2.7
[関西] 輸入(10億円)	1,258.5	1,312.4	1,373.9	1,230.1	1,415.7	1,422.8	1,344.8	1,450.5	1,380.8	1,280.0	1,256.1	1,266.7	1,155.1
[関西] 輸入(前年同月比%)	-0.1	14.0	0.6	-1.6	9.9	1.8	-0.3	4.7	-10.9	10.1	-14.2	-4.3	-8.2

Release Calendar for APIR Monthly

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1-Jun 中国製造業 PMI (6 月)	2-Jun 毎月勤労統計 (4 月:速報値)	3-Jun	4-Jun	5-Jun
8-Jun 景気ウォッチャー調査 (5 月) 中国輸出入 (6 月: 速報値)	9-Jun 消費動向調査(5 月)	10-Jun 近畿鉱工業生産指数 (4 月速報) 近畿貿易統計 (3 月確報) 近畿貿易統計 (4 月確速)	11-Jun 中国工業生産(6 月) 中国固定資産投資 (6 月) 中国消費小売総額 (6 月)	12-Jun 商業動態調査 (4 月:確報値) 全国鉱工業生産指数 (4 月:確報値)
15-Jun 公共工事前払保証額 統計(5 月)	16-Jun マンション契約率 (5 月)	17-Jun 全国貿易統計 (5 月:速報)	18-Jun 毎月勤労統計 (4 月:確報値)	19-Jun
22-Jun	23-Jun	24-Jun	25-Jun 近畿鉱工業生産指数 (4 月確報) 近畿貿易統計 (5 月速報)	26-Jun 求人倍率(5 月) 完全失業率(5 月)
29-Jun 商業動態調査 (5 月:速報値) 全国鉱工業生産指数 (5 月:速報値) 全国貿易統計 (5 月:確速)	30-Jun 新設住宅着工(5 月) 建設総合統計(5 月)	1-Jul	2-Jul	3-Jul